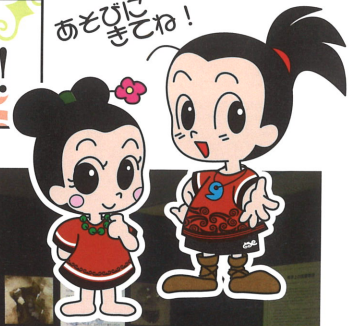


「伝えて! じょうもん人からのメッセージ」展 開催中!!

あそびにきてね!



毎年、縄文王国山梨7館(※1)ではスタンプラリーを実施していますが、今年も7月19日～11月5日の日程で実施しています。今年スタンプラリーだけでなく、小学生を対象としたイラストコンテストも実施し、それに併せて各館で特設展示を開催しています。



特設展示は、「伝えて! じょうもん人からのメッセージ」展と題し、人面や動物・植物文様のついた土器や、土偶を多数展示しています。北杜市埋蔵文化財センターでも、明野町の遺跡出土の遺物を中心に、武川町の向原遺跡や美原遺跡の遺物なども展示しています。明野町の遺跡出土の遺物の中には、常設展には出ていない、諏訪原遺跡出土の「人面装飾付土器」や、梅之木遺跡出土の「人面装飾付吊手土器」も展示しています。これを機会に、ぜひご覧になりに来てください。



諏訪原遺跡出土
人面装飾付土器



梅之木遺跡出土
人面装飾付吊手土器



※1 県立考古博物館・県立博物館・釈迦堂遺跡博物館・長坂郷土資料館・韮崎市民俗資料館・南アルプス市ふるさと文化伝承館・北杜市埋蔵文化財センター

これらの土器や土偶が作られた縄文時代は、どのような時代だったのでしょうか。縄文人は「森」の民だったと考えられています。豊かな自然に囲まれ、動植物とともに暮らしていました。森の中で狩りをし、木の実を採集して、食べものを手に入れていました。縄文人にとっては、それが日常の風景だったわけですから、縄文土器に描かれている文様にも、森の様子や、縄文人が感じていたことが描かれているかもしれません。今回のイラストコンテストの趣旨はそこにあります。土器や土偶を見て、縄文人が感じていたこと、つまり「じょうもん人からのメッセージ」に耳をすませ、そこからイメージを膨らませてイラストを描いてもらいたいと思っています。

コンテストの詳細などについては、研究所へお問い合わせ下さい。



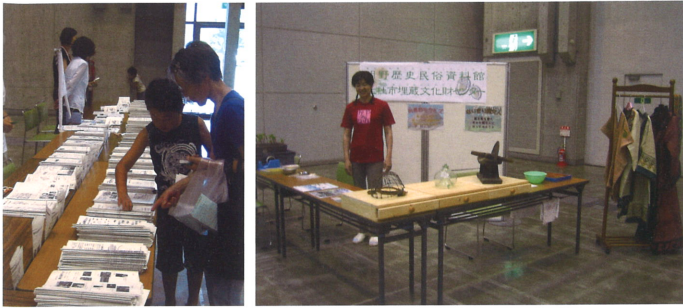
イラストの例

土器には、煮炊きや運搬など、実用的に使ったと考えられるものから、埋葬や祭祀の時に使ったと考えられるものまで、さまざまあります。人面が付いたようなものは、祭祀の時に使用したのかもしれませんが、土偶は、そのほとんどが意図的に壊された状態で見つかります。土偶は祭祀の時に使われたと考えられていますが、なぜ壊したのでしょうか? 県内の釈迦堂遺跡では、1,116個という、日本全国で発見されている土偶の実に一割が見つかっています。釈迦堂遺跡とは、どのような遺跡だったのでしょうか? (釈迦堂遺跡で発見された土偶は、釈迦堂遺跡博物館で見られます)

土器に付いた人面や土偶の顔は、実にさまざまな表情をしています。中には、目鼻口の造形が無いものもあります。今回の特設展示でも、向原遺跡出土の遺物に、そのような土器(一部)が一点あります。年代よっての表情の傾向もありますので、ぜひ、特設展示の中の「顔」をじっくり見てみてください。

夏休み自由研究プロジェクト2008 参加報告@アイメッセ山梨(7/21)

毎年恒例の、アイメッセにおける夏休み自由研究プロジェクトが今年も行われました。かやぶんも、明野歴史民俗資料館・北杜市埋蔵文化財センターとしてブースを出しました。



今年の目玉は、「藍染め体験」。資料館裏の「みんなの畑」で育てている藍を持っていき、藍染め体験を来場者の皆さんにしてもらいました。

どのようにやるかというと…和紙のハガキに、藍の生葉を置き、上からビニールシートを掛けて、その上から石で叩いていきます。このような染め方を「叩き染め」というそうです。石で叩いていくと、藍から汁が滲み出てきて、それがハガキに定着します。定着した色は、藍色というより、青緑色という感じですが、時間が経つと、多少青みが強くなります。



その他には、「民具クイズ」(今年は薬研・蠅取り器・馬の口籠を出題)と「なりきり縄文人」のコーナーを準備しました。

「藍染め体験」は、藍の量に限りがあるので先着50名とさせていただいたのですが、イベント終了時刻よりかなり早く終了する盛況っぷりでした。「民具クイズ」や「なりきり縄文人」も、皆さん楽しんでくれたようで良かったです。



小中学生対象イベント(参加費 500円)

=ドキドキ! まいぶんシリーズ=

2008年 8月の予定～

★Specialイベント!! 遺跡のお仕事体験教室

実際の発掘現場で、遺跡の発掘を体験できるよ!
土器や石器を見つけられるかな?

日時: 8月9日(土) 午前9時半～11時半
場所: 諏訪原遺跡(明野町上神取)
服装: 汚れてもいい格好
持ち物: 帽子・軍手・タオル・水筒

※定員15名(受付は定員になり次第終了いたします)
※諏訪原遺跡までの交通手段がない方はご相談下さい。

※8月は放課後体験教室はお休みです。

ドキドキ! 埋文シリーズで、いろんな体験を楽しもう♪ 参加者申し込み受付中です!
お問い合わせは茅ヶ岳歴史文化研究所まで。

TEL/FAX: 0551-25-2019

まいぶん・れきみんからのお知らせ

北杜市埋蔵文化財センターと明野歴史民俗資料館は、7月20日(日)～8月20日(水)の間、土日および祝祭日も開館しています。どうぞお立ち寄り下さい。

=会員募集=

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金: 1000円 年会費: 1000円

=編集後記=

いよいよ夏らしい暑さがやってきました。子ども達にとっては、待ちに待った夏休みの到来ですね。

今年の夏休みには、縄文王国がパワーアップして登場! スタンプラリーとイラストコンテストに、ぜひ参加してみてくださいね。

王国参加館ではそれぞれ、縄文のメッセージを伝える企画展示が行われています。埋文センターでは、初展示の土器も登場。梅之木遺跡の吊手土器も展示されています! 皆様のお越しをお待ちしています。

かやぶんかわら版 第40号

平成20年7月25日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019
ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>
E-mailアドレス info@kaya-net.jp